

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



福満分教会

大正14年1月27日 御鎮座奉告祭
平成2年9月19日 神殿落成奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

一手一つに、一步一步!

- *初席者一名以上
- *百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教182年
3月号

学生層育成者講習会
開催
学生担当
委員会

大教会学生担当委員会(山野弘実委員長)は2月21日、松山勇一先生(本部学生担当委員)を講師に迎え、大教会2月月次祭後に「学生層育成者講習会」を開催した。学生層をはじめとする道の後継者育成の重要性を理解すると共に、活動を広めていく事を目的に毎年開催しているもの。

講話内容は次の通り。

本日は学生層育成者講習会をご開催下さりありがとうございます。

まず、学生層育成者とはこの場にいらっしゃる皆さん、学生を終えられた皆さん全員が学生層育成者ですから、是非お聞き取り下さい。

ある男子学生の話をお願いします。彼は教会で生まれ育ち、周りの信者さんが、「大きくなったら教会を継ぐんだね。」と声をかけて下さる。しかし成長するにつれて、何で家は天理教なんだろう、と疑問を抱くようになった。この男子



声かけの大切さを話される松山先生

学生はその後、天理高校・天理大学と進んだ。そして一つの壁にぶつかることになる。これからどうやっていけば良いのだろうか、と将来に対する明確なビジョンが持てず、いつしか学校にも行かなくなり、家に引きこもるようになった。

皆さんならこの学生にどのように声をかけるでしょうか。実はこの男子大学生、私の20年前の姿です。その思い悩んだ時期に道しるべとなった言葉があります。大学3回生の時、引きこもらずにアルバイトだけでもしようと考えて、バイトをしていました。明日から春学の準備スタッフのひのきしんが

始まるので、今日でバイトを一旦終わるといふ日のことでした。配達の仕事を終えてバイクで帰る道中、自動車にはねられて大事故をしました。自分では春学のスタッフになって良いことをしていると思っていたのに、何でこんなことになるのだろうか、腑に落ちなかった。足を引きずりながら帰宅して、祖母に事故の報告をしました。祖母には優しい言葉をかけてもらえるものと思っていたが、「今すぐ神殿に行っておつとめをしてきなさい」と厳しく言いつけられました。そしてその後、祖母より長いお諭しがあり、初めて神様の思召しについて教えてもらいました。そこでようやく親神様の親心について知ることができた。当時学生だった自分を変えてくれたひと言は、「今すぐおつとめ」でした。

お金のこと言われたやろ。そのお金は自分のお金やないらしいぞ。信者さんから借りたお金らしい。お前どうする。」と問われました。本当にショックでした。僕は何をしているんだろう、これからどうやってM先生のお気持ちに報いればいいのだろうか。私はこのことをきっかけに再スタートを切ることでできました。私を変えてくれた二つ目の言葉は「お金貸したるか」でした。

その後、単位が取れず一れつ会の扶育も頂けなくなる、来年からどうしようかと思ひ悩んでいた時に、自分にとって面識のあまりないM先生から呼び出しがありました。内心、怒られると思ひながら伺ったところ、M先生は、「松山君、ぼくがお金を貸してあげるから頑張ってみないか。」と仰いました。家に帰ると父より、「M先生から

この若者をどうにかしてやろうという周囲の思いが、私を動かしてくれたと思います。若者はアイデンティティ確立の時期と言われますから、私の学生時代のように方向が定まらず、さまざまにもまもあることと思ひます。そういう時期にある学生さんに対しての周囲の何気ないひと言は、その人の人生を大きく変えていくひと言になるやもしれません。若者の育成は、まずは声をかけ心をかけていくことから始まるのではないのでしょうか。

「よつ」といふ言葉を「よつ」といふ言葉をご存じですか。携帯電話等で繋がりをもった、「よつ」と声をかけるだけの友達のことだそう。教会子弟の大学生が次

「よつ」といふ言葉をご存じですか。携帯電話等で繋がりをもった、「よつ」と声をかけるだけの友達のことだそう。教会子弟の大学生が次

のように言うのです。「先生、大学卒業したら携帯電話やめようと思う。しんどいです。」「よっ友だらけで、人のつきあいに疲れます。」と。

広く浅く人間関係を作るには、携帯電話等で他者との情報のやりとりをするソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)のようなツールはとても便利ですが、狭く深い人間関係を作るには向いていないようです。いずれにしても、携帯電話等でのSNSの利用は人間関係の繋がりに大きな影響を与えているといわれています。SNSは早く広く情報が広がっていきます。ある有名な芸能人のツイッター(インターネットのコミュニケーションツールの一つ)などは、800万人に見られているといわれています。これは読売新聞の発行部数に匹敵する数です。インターネット上にはいろんな情報であふれかえっています。

「天理教」で検索してみても、良くも悪くも様々な情報が並べられています。このような現状に鑑みて、確かな情報をインターネット上でより多くの若者に伝えたいと考え、35年間続いている月刊誌の「はつぴすと」をインターネットで見られるようにしまし

た。

また、同時に今の人に必要なのは、実際の人間関係だと思えます。表統領先生は学生担当者大会において二つの点を強調して述べられました。一つは、学生担当者は学生会の行事で世話取りをした学生と一生のつきあいをしてほしいということ。例えば学生担当委員会の役目を頂いた方が任務を終えても、その後も道を歩む仲間として関係が続けてほしい。若者には信仰や人生の悩みを打ち明け、聞いてもらえる相手が必要です。また、一緒に活動する相手も必要です。そういった存在になつてほしいということをお願いしました。

また一つには、育成には相手がいることをしっかりと意識してほしいということ。私たちは自分がどのような後ろ姿、背中を見せているかは意識すると思うが、それと同時に背中を見せている相手が、果たしてそれを見てくれるかどうかを確認してほしいということ。育成している相手、学生が自分の後ろ姿を見てくれるか。この確認を欠かしてはいけないというお話でした。

おさしづに、

石の上に種を置く、風が吹けば飛んでう、鳥が来て拾うてう。生えやせん。心から真実蒔いた種は埋つてある。鋤で掘り返やしても、そこで生えんや外で生える。

(明23・9・30)

蒔き流し蒔き流し、あちらにしょんぼり、こちらにしょんぼり。蒔き流しはどうもならん。蒔いたもの修理する。あちら一人育て、こちら一人育て、何処へ種蒔いたやらという処から生えて来る。眺めて見れば、

その道筋一粒万倍という。(明29・10・10)

とお教え頂いています。決して無駄になる声かけはない、一生懸命する中に見えてくるのではないのでしょうか。

しかしただ闇雲に取り組んでもいけないので、学生会の活動をご紹介します。

学生生徒修養会 大学の部

大阪奈良でのにいがけがあります。集中的に神様と向き合うことにより、信仰が一段上がったという参加者の感想を聞きます。

学生生徒修養会 高校生終了の部

管内高校生も参加可能です。高校卒業のタイミングは非常に大きな転換期。この時期におちばに集い、み教え

に触れることの意義は大きいと考えます。昨年は定員を超えてしまい参加をお断りしましたが、今年は定員を増やしました。

春の学生おちばがえり

一番多くの学生に参加して頂く行事です。真柱様より参加した学生にお言葉を頂きます。初めておちばがえりした人にもわかりやすいお話で、学生の本分である勉強の意義にも触れ、その大切さをお教え下さいます。

学生生徒修養会 高校の部

里子の生徒さんが約1割参加して下さるが、そこで天理教の仲間がいることを知り、喜んで帰って下さっていると思います。また、申し込みのあった生徒さんの境遇や特性を事前にできるだけ把握して対応の備えをしているので、事情のある方も安心してご参加下さい。

教祖130年祭の神殿講話で、真柱様は人材育成に関して概ね次のようなお話を下さいました。

一、道の将来を担う人材を育てましよう

二、人材を育てる理由は陽気ぐらしの世界建設のため

三、人を育てることは年限も手間もかかる

そして、「何よりも頑はない子どもをはぐくみ育てるように根気よくお育て下された教祖の親心をその根底に置きたいのであります。」と。

学生担当委員会では年間活動方針を「誠の心で人材の育成に努めよう」と掲げています。私たちは決して行事の参加人数が増えて良しとはしてはいません。教祖の親心に沿って誠の心で道の後継者を育てたいと思っています。

お道では縦の人間関係とは親子であり、また教会長と信者としての学生です。そして絶対の関係です。学生会における横の人間関係とは、学生同士。気軽だがしかし切れてしまいやすい。

ここで、斜めの人間関係というのが声かけをする際に大切な役割を果たすことがあります。斜めの関係とは、学生からすれば、親戚のおじさん・おばさん・おじいちゃん・おばあちゃん・兄弟教会や他系統の人たちのこと。親以外、会長さん以外の人から声がかかると、学生さんには少し異なる感覚で誘いの言葉を受け取ってもらえるかも知れません。

皆様一人ひとりが学生層の育成者で

す。どのような声かけが一人の学生の人生を変えるかわかりません。皆で力を合わせてオール天理で学生層の育成に取り組ませて頂きたいと思えます。ご静聴ありがとうございます。

(文責：学生担当委員 佐藤真孝)

教会長講習会 開催

布教部

去る2月25、26の両日、笠岡詰所で教会長講習会が実施され、89人が受講した。今回の講習会は笠岡大教会創立130周年ならびに六代会長就任報告祭に向けて、具体的実践の周知徹底を図ることをねらいとして行われた。

初めに、大教会長様が活動の心構えについて懇ろにお諭し下された。その中で、初代会長上原さと様一人から笠岡の道が始まったことに触れ、それぞれの教会、家庭の信仰の元一日を尋ね、信仰の元に立ち返って活動を進めるよう促された。

次に、田中隆之実行委員長より提唱する活動実践の具体について説明がなされた。特に、「百万件にいがけ」については、心さえあれば自分一人か

らでも実践できること、挨拶やゴミ拾い等のささやかな行動もそこに心が伴うならば立派なにいがけになると述べ、一人ひとりが自分にできるにいがけに足を踏み出すよう話した。

最後に、4人1組のグループに分かれてねりあいを行った。教内機関誌に挙げられた教友のにいがけ例を参考にしながら、教会でできるにいがけと信者一人ひとりができるにいがけについて意見を述べ合った。

参加者全員で夕勤めを勤めた後、大教会長様を囲んで親睦夕食会を開き、一献酌み交わしつつ、ねりあいの続きを熱く語り合った。明けて2日目は各自月次際に参拝し解散した。

(布教部員 佐藤真孝)

「有志

ひのきしん隊」実施

青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、1月17日、2月24日に大教会墓地参道で有志ひのきしんを実施し、のべ12人が参加した。

ひのきしん内容は、昨年豪雨によ

り、参道溝に流れ込んだ土砂の撤去を行った。参加者は、重機と手作業を織り交ぜながら、黙々と土砂をかきだし、参道の溝は、すっかりきれいになった。



AFTER



BEFORE



募る思いを話される上原支部長

婦人会笠岡支部(上原きよ枝支部長)は、2月22日午前10時より大教会で、「委員・直轄委員長講習会」を開催、32人が参加しました。
午前中は上原きよ枝支部長が、婦人会長様の思い、そして、創立百十周年記念総会、さらに、笠岡支部ご臨席総会に向けて、委員・委員長としての

**委員・直轄委員長
講習会 開催**
婦人会



決意も新たにてをどりまなび

役割、責任についてお話しくださり、今、親の思いを素直に受け止めて、素直に行動に移すことの大切さをお聞かせくださいました。引き続き、お話のふりかえりをさせていただきます。
午後から、「おさしづと婦人会」の勉強。婦人会にかける親神様の思いをそれぞれが学ばせて頂きました。その後、神殿で十二下りのてをどりまなびを勇んでつとめ、心新たに、実動への思いを固めさせて頂き、午後3時、閉会しました。
(常任委員・武内正美)

天理教婦人会

婦人会長様御臨席

笠岡支部総会

第24回

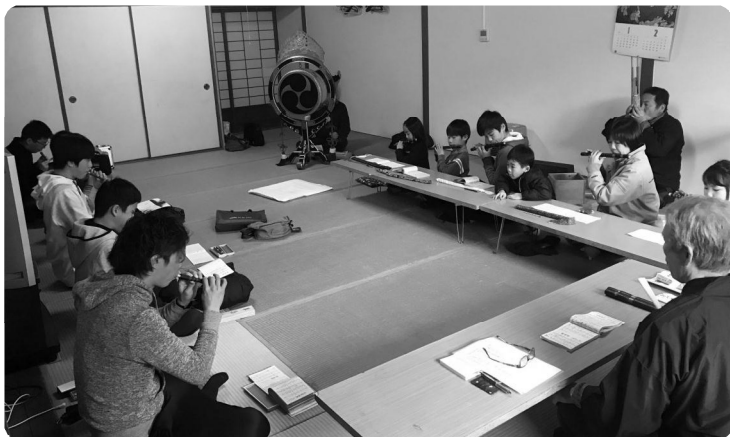


立教182年6月23日(日) 午前10時30分

雅楽勉強会開催

3・3 大教会で

雅鶯会



短時間の練習で成果を上げた合奏練習

雅鶯会(中島誠治楽長)では3月3日(日)、午前9時半から恒例の雅楽勉強会を開催しました。当日は、初心者5人、初級者5人の参加者と講師5名で勤めました。

午前中のパート練習後、昼食を頂き、午後からは合奏練習、最後は笙、箏、龍笛、太鼓も入れてのお供え演奏をさ

せて頂きました。正味3時間少々の練習時間にも関わらず、驚くほどの進歩が見られました。これは、参加者のほとんどが小さい頃から鼓笛隊でのフアイフや、教会でのおつとめで、みかぐら笛を吹いていたからこそ、雅楽の世界でも役だったのかと感心しました。近い将来、それぞれの教会祭典で、雅な音色が聞こえてくることを楽しみに勉強会を続けていきたいな。と思えました。(雅鶯会 中島 誠 治)



新任詰所主任の

杉原夫妻の明るさ

第93期教養掛副主任 西村彦一

平成最後のお正月からお勤め下さいます御両人は、終戦後の激動の時期を教会で育ち、無いのが当たり前の事と・・・縁あった二人の生活にもそれが垣間見えます。主任は多感な時代を

転々と表・裏の社会を経験しながらの根性のある若者になって行きます。持ち前のトークと声の良さで、ギター用木としてボランテアに生かされています。奥様は、目線の綺麗な美女(在られたに違いない)で、その眼差しで先生に一寸ばやかれるところは夫婦漫才師のそれに似ているように私は思うのです。

過日、修練場で詰所主任の講話で、満面の笑顔で、優しく語りかけて「私のような者にも当時の修養科生たちが、今も私の教えを乞うてくるのです」と云いながら、一期講師の時の「不思議な御守護」を、感極まり涙を拭きながらに伝えて下さいました。それは10年も前から続く奇蹟とも思えるつながり・・・たった3か月の間の、その日から今も連綿と続いてきている事に驚愕したのは私だけでは無いと思えます。

もう・・・とつくの昔の事！勘弁してくれ！其れなりに忙しい今日。私ならそう云ってしまいそうです。こんな思いは欠片もない杉原先生だからこそ！慕ってくるのでしょね。お話の後で聞き直した事にも、懇切丁寧に続けて下さるのです。爽やかな心地

でお帰りになられる先生の後姿は、少し左にかしげで歩かれるのを、かえって親しみを感じたのでした。

さほどに遠くない過去の事。津森朋之先生のお世話で「陽気暮らし講座」を3カ所、杉原先生と御一緒させて頂いた時の事です。

先生のギターの弾き語りと参加者とのコラボのあと、ギターの名手と云う事で、名曲「禁じられた遊び」を弾いて下さいとお願ひ致しました。「いやあくそんな久し振り・・・」と申されながら奏でられました。何と最高です。バツチシでした。ギターの基本とも云われる曲です、音楽の基礎も音調も歌唱も最高です！割れんばかりの拍手を受けながら、笑顔で白い歯を見せての愛着のある姿が私の心に焼き付いています。

今丁度、担任変更をなされたばかりで、この3月17日に目出度く奉告祭を迎えられますので、心身ともに御多忙で、合間つて巡教の御用も織り込まれたの毎日です。御両人のご健勝をお祈りしながら、奥様の有り余る？サポーターが有りますので「安心なこの先」と申し上げまして納めさせて頂いたいただきます。

立教百八十一年 二月月次祭 祭典役割表

| 胡弓 | 三味線 | 琴 | 小鼓 | すりがね | 太鼓 | 拍子木 | ちゃんぽん | 笛 | 役割 | | | 講話 | 祭主 | | 扨者 | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | おつとめ | てをどり | 地方 | | 区分 | 上原 | | 大教会 | | | | | | |
| 上原順子 | 今川佐智子 | 虫明好美 | 今川昌彦 | 森本忠平 | 中村剛 | 吉岡壽 | 岡田誠 | 上原浩 | 門脇郁子 | 田中ますみ | 大教会奥様 | 上原繁道 | 上原明勇 | 大教会長様 | 森本忠善 | 佐藤道孝 | 谷内伸自 | 佐藤道孝 | 上原志郎 | 大教会長様 | 山野弘実 | 学生層育成者講習会 |
| 三島照美 | 横山小智榮 | 武内正美 | 赤木素志 | 中島誠治 | 山野弘実 | 高木昭祥 | 山田敏教 | 内海史郎 | 中村初美 | 森本富美子 | 内海安子 | 上原志郎 | 杉原博之 | 門脇元教 | 佐藤真孝 | 岡崎真一 | 田林久嗣 | 岡崎真一 | 岡田誠 | 武内清明 | 指図方 | 四月講話 |
| 山野なつ | 室悦子 | 門脇加津 | 浅野明教 | 三代温生 | 武内清明 | 岡田誠 | 虫明立生 | 横山逸郎 | 田中つかさ | 高木孝子 | 武内美智恵 | 中村道徳 | 三島渉 | 田中隆之 | 上原繁次 | 吉岡誠一郎 | 渡邊隆夫 | 吉岡誠一郎 | 岡田誠 | 上原明勇 | 上原明勇 | |

大教会だより

教会指令 II

◎任命願

弓ヶ濱 分教会

*前任 森川弘志

*新任 森川道弘



森川道弘氏

☆奉告祭 立教182年4月14日

立教182年2月26日承認

◎本部食堂ひのきしん

自 立教182年2月1日

至 立教182年2月28日

新山邑 三島美保子

訃報

掛谷和由氏

福南分教会長

3月7日出直されました。

享年 79才

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されていましてので転載いたします。(敬称略)

▼『天理時報』

▽2月10日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

我が家は白味噌仕立ての雑煮なり
金時人参、里芋入れて

▽2月17日付「時報俳壇」

・備中◎ 塩飽利子さん

春浅し句材探して夕散歩

▽3月3日付「時報歌壇」

・福満◎ 福島悦子さん

病癒え帰る家並み輝きて
われを迎える春告げの花

▼『陽気』誌3月号「道柳」より転載。

▽地位

・東悠◎ 田林美智子さん

見せらるる教祖の思いを心とし

▽佳詠

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

くもりなき心で見える陽気の芽

▼表紙写真(福満分教会提供)



立教182年 定期巡教表

| 教会名 | 巡教月日 | 巡教員 | 教会名 | 巡教月日 | 巡教員 | 教会名 | 巡教月日 | 巡教員 |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 廣 町 | 2月13日 | 大教会長様 | 御 野 | 2月 8日 | 横山逸郎 | 呉 中 | 3月 8日 | 上原繁道 |
| 福 廣 | 2月 7日 | 上原志郎 | 香地華 | 3月 9日 | 中島誠治 | 大江橋 | 2月 5日 | 上原繁道 |
| 福 勇 | 2月11日 | 山野弘実 | 真 金 | 2月11日 | 大教会長様 | 品 治 | 2月 7日 | 田中隆之 |
| 福 芦 | 2月 9日 | 大教会長様 | 稲 倉 | 2月13日 | 三島 涉 | 久 福 | 2月 8日 | 武内正美 |
| 福 満 | 2月 8日 | 山野弘実 | 稲 瀬 | 3月 5日 | 上原繁道 | 呉 福 | 3月 5日 | 田中隆之 |
| 福 岩 | 3月12日 | 今川昌彦 | 稲富士 | 3月15日 | 大教会奥様 | 鶴 眞 | 3月10日 | 大教会長様 |
| 西 村 | 2月10日 | 中村道徳 | 稲 讚 | 2月10日 | 大教会長様 | 川島郷 | 2月10日 | 三島 涉 |
| 福 年 | 3月 7日 | 上原繁道 | 門司港 | 3月12日 | 田中隆之 | 作 備 | 2月 6日 | 吉岡 壽 |
| 引 野 | 3月 6日 | 吉岡誠一郎 | 大恵山 | 3月12日 | 中村 剛 | 輝 華 | 2月13日 | 杉原博之 |
| 福 昭 | 2月11日 | 大教会奥様 | 東水島 | 3月10日 | 吉岡 壽 | 錦ヶ原 | 2月 3日 | 上原繁道 |
| 福 春 | 3月 5日 | 上原明勇 | 高児島 | 2月 5日 | 吉岡 壽 | 行 藤 | 2月11日 | 上原 浩 |
| 福 中 | 3月12日 | 上原明勇 | 高 丸 | 2月 6日 | 田中隆之 | 眞 府 | 2月 9日 | 中島誠治 |
| 福富士 | 3月10日 | 今川昌彦 | 出 雲 | 2月11日 | 上原志郎 | 吉 舎 | 3月 4日 | 今川昌彦 |
| 福 東 | 2月 9日 | 山野弘実 | 瑞 雲 | 3月 6日 | 大教会奥様 | 清 嶽 | 2月 5日 | 三島 涉 |
| 東福山 | 2月 6日 | 門脇元教 | 錦 洋 | 2月14日 | 上原繁道 | 上小島 | 3月10日 | 吉岡誠一郎 |
| 福 南 | 3月13日 | 田中隆之 | 米 府 | 2月15日 | 上原繁道 | 木津和 | 2月 6日 | 中村 剛 |
| 福 順 | 2月11日 | 中村道徳 | 弓ヶ濱 | 2月 8日 | 吉岡誠一郎 | 國 須 | 2月 7日 | 佐藤道孝 |
| 福 節 | 3月 8日 | 中村道徳 | 西 伯 | 3月 9日 | 上原明勇 | 上吉野 | 2月12日 | 上原 浩 |
| 福 備 | 2月 3日 | 山野弘実 | 米 美 | 3月 5日 | 上原 浩 | 上 備 | 2月 8日 | 門脇元教 |
| 福 輝 | 2月13日 | 上原 浩 | 伯 仙 | 2月10日 | 吉岡誠一郎 | 河 佐 | 2月 4日 | 三島 涉 |
| 坪 生 | 2月 5日 | 中村 剛 | 照 雲 | 3月 6日 | 上原 浩 | 上川邊 | 2月12日 | 上原明勇 |
| 八 尋 | 3月10日 | 大教会奥様 | 松 都 | 2月 7日 | 大教会奥様 | 甲 井 | 2月 3日 | 上原明勇 |
| 深 安 | 2月 6日 | 大教会奥様 | 樺 島 | 6月 3日 | 上原繁道 | 上 父 | 2月 7日 | 武内正美 |
| 笠 尋 | 3月 3日 | 今川昌彦 | 新輝豊 | 2月 3日 | 大教会長様 | 阿木行 | 3月 2日 | 中村 剛 |
| 芦 品 | 2月13日 | 中島誠治 | 亀田山 | 2月12日 | 田中隆之 | 宇津戸 | 2月 5日 | 上原明勇 |
| 安 那 | 2月 8日 | 上原繁道 | 出雲川津 | 2月10日 | 上原志郎 | 河 面 | 2月 8日 | 上原志郎 |
| 芦田川 | 3月 3日 | 上原明勇 | 天場山 | 3月 8日 | 上原明勇 | 府世原 | 3月12日 | 中村道徳 |
| 三 郡 | 3月10日 | 横山逸郎 | 簸ノ川 | 3月10日 | 上原明勇 | 神 驛 | 2月 5日 | 上原志郎 |
| 芦 常 | 3月 5日 | 大教会長様 | 多古浦 | 3月13日 | 大教会長様 | 神 免 | 3月 8日 | 横山逸郎 |
| 芦加茂 | 3月 6日 | 今川昌彦 | 瑞 北 | 2月 9日 | 吉岡誠一郎 | 葦 沼 | 2月 7日 | 門脇元教 |
| 恵 陽 | 2月14日 | 横山逸郎 | 雲 東 | 2月11日 | 田中隆之 | | | |
| 陽 實 | 2月12日 | 中村道徳 | 神 村 | 3月10日 | 杉原博之 | | | |

二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の一人人間の陽気ぐらしを見たいとの親心溢れる御守護を頂戴し 日々は結構に恙なく暮らさせて頂いております 中でも今は寒さを味わう季節の中にあつて 太陽の光や熱 又さまざまな物を通して温みをお与え下さつております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共はご恩報じを念じて 日々は朝に夕に御礼を申し上げつつ 陽気ぐらしを目指して たすけの輪を広げるべくたすけ一条のご用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日は たすけの元立てたるおつとめを勤める日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心も一人に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりを勤めて二月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には元の親実の親を慕い 寒さも厭わず今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し日頃のご高恩に改めて御礼申し上げ 尚も変わらぬ親心にお縋りする状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて本日は祭典に引き続き学生層育成者講習会を開催させていただきます 三年千日のスローガンであるたすけの輪を広げる為にも おたすけ人の卵である学生層の育成は不可欠でありますので 受講後は育てを意識して実働に力を注いでいく所存でございます 又明日二十二日は婦人会が直轄委員長及び委員研修会を行い 六月二十三日開催の御臨席総会に向け しっかりと話し合いを重ねて一手一つに心を合わせて成人の歩みを進めていく所存でございます 又 二十五二十六日にはおぢばで教会長講習会を開催させていただきます 二月三月の部内巡教を受け 全教会全よぶくでの三年千日活動の更なる飛躍を誓い合いたいと存じます

何卒親神様には 世の風潮に惑わされず只一筋に親心を見つめ陽気ぐらしを目指してひたむきにたすけ一条に励む皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上により一層自由の御守護を賜りかしまのかりものの理が心に治まりご恩報じを願う人が弥増して お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます



息子の通う小学校にはトランペット鼓隊と言つて、小学校には珍しい金管楽器を取り入れた鼓笛隊がある。勿論60名程の全校生徒全員参加である。その中で息子は今年からトロンボーンを吹くことになった。まだ体格には見合わないが、6年生が卒業する今の時期、後を担当することになったのである。実は、私も遙か数十年前トロンボーンを吹いていたことがあるのである。それを知ってか知らずか、自分からトロンボーンを希望したらしい。

息子が初めてトロンボーンを持ち帰った時、懐かしい気持ちと父さんの凄いところを見せてやろうと、「父さんも昔、吹きようたんぞ。ちよつと貸してみい。」と数十年ぶりに吹いてみた。何と！最初の一吹き、音が出ない。おかしい？！それでも何か吹き込むうちにオナラのような変な音がでた。その後も音階を吹いてみるが思うような音は出ず、もう少し感覚を取り戻したく、あずる中、息子に「もう、ええじやろ。」と取り上げられる始末であった。昔は上手くはないが、それなりに音楽になつていたのに・・・つくづく月日の経過を感じさせられた。息子は、今はまだ、やつとドレミファが吹けるくらいだが、これから練習を積み重ねてどんな演奏をしてくれるか、先が楽しみである。子供の成長は、本当に親の楽しみである。

アフリカ支援バザー

バザー

H31

4月7日

10:00-13:30

開始

終了

祭り

ステージ演奏

(10:30~スタート)

井原吹奏楽団メルヘンウィンドアンサンブル、雅鶯会(雅楽)、和太鼓、ダンス、and U(マジック)、

抽選会



カレー

うどん
焼き鳥

射的

模擬店

焼きそば

ボトムスステイキ
(特別出店)

コーヒー
スイーツ

唐揚げ
ポテト

子ども風呂敷市

中学生まで
畳1枚分

1ブース 500円



主催 * 天理教笠岡大教会
担当者 * 上原志郎 / 千枝子
TEL * 0865-66-1311